

福山駅前広場整備基本計画の策定に向けて

2023年（令和5年）9月25日

福山市 建設局 福山駅周辺再生推進部 福山駅周辺再生推進課

1. これまでの検討状況について
2. 検討の進め方について
3. 基本計画の内容について

1. これまでの検討状況について

2. 検討の進め方について

3. 基本計画の内容について

1. これまでの検討状況について

●福山駅前再生ビジョンと福山駅周辺デザイン計画

2018年3月
「福山駅前再生ビジョン」の策定

めざす福山駅前の姿

「“働く・住む・にぎわい”が
一体となった福山駅前」

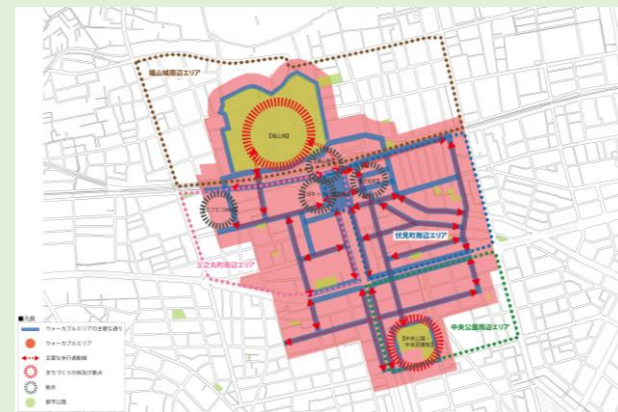


ビジョン実現に向けた基本計画



2020年3月 「福山駅周辺デザイン計画」の策定

「ウォーカブルなまちづくり」
「居心地が良く歩いて楽しい空間」へと転換



1. これまでの検討状況について

- 現在の福山駅前広場の問題点や課題を考えるため検討を開始

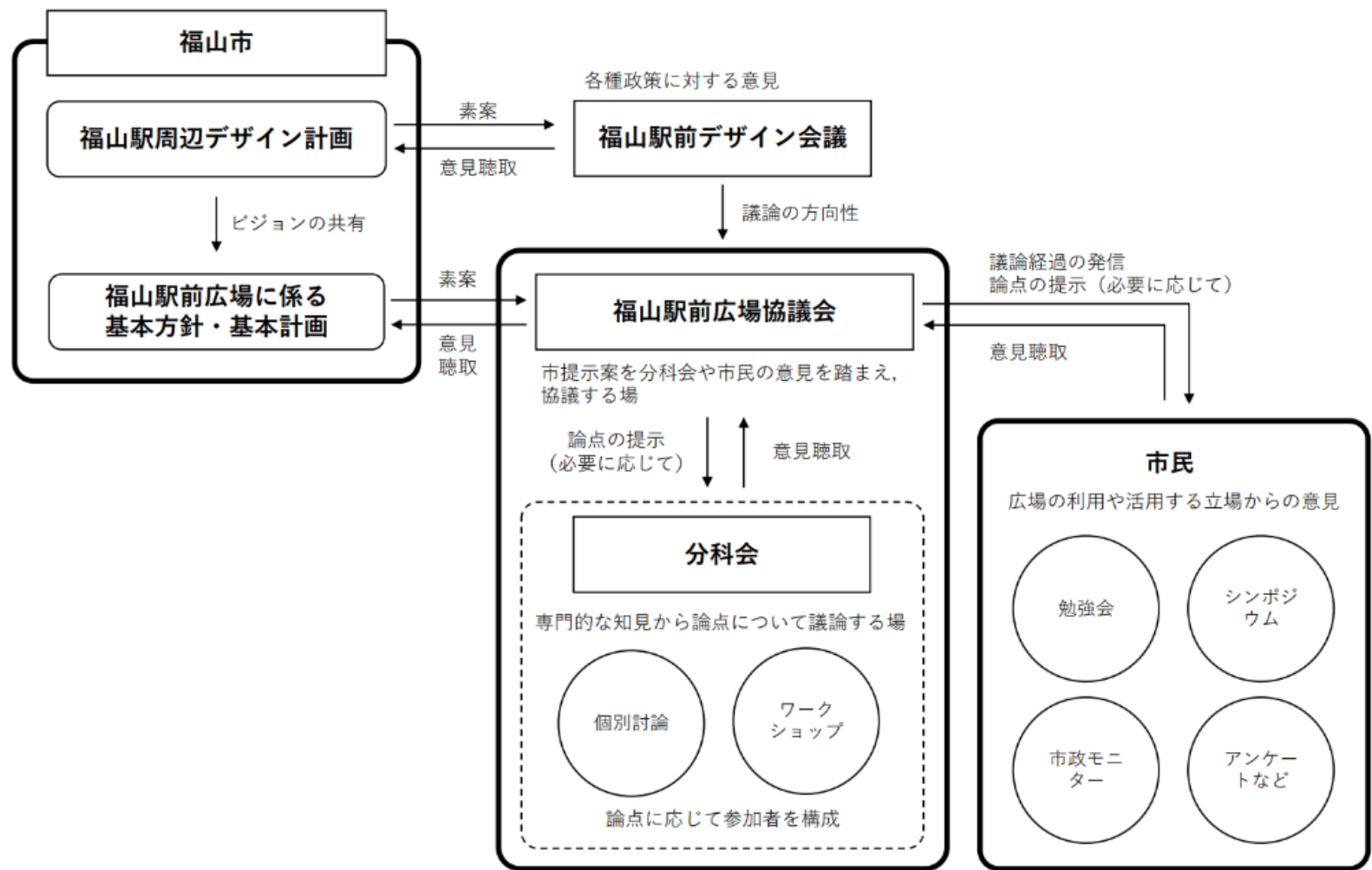
現在の福山駅前広場



1. これまでの検討状況について

●多様な関係者から意見を聴き取りながら検討

福山駅前広場協議会の枠組み



1. これまでの検討状況について

●実証実験による検証結果を踏まえて、基本方針を策定

会議やアンケートで意見を聴取



実証実験による検証



幅広い意見を聴取，そして検証

2022年度

福山駅前広場整備基本方針を策定

Vison
(将来像)

あらゆる資源をつなぎ、福山らしい豊かな暮らしを実現する駅前広場

～ ヒト・モノ・カネ・情報・交通をつなげ、愛着・誇り・魅力ある駅前広場へ～

1. これまでの検討状況について

●駅前広場の再編の目的



駅周辺を市内外から人や企業を惹きつける魅力あるエリアに変えるため、その核となる駅前広場を交通結節機能と都市の広場機能が融合した居心地が良く歩きたくなる空間へと転換する。

1. これまでの検討状況について

●利用者目線の価値

使いやすさ

- 徒歩や車両でスムーズに移動できる
- 公共交通が使いやすく、車を持たなくても暮らせる
- 周辺施設との連携により、便利に使える
- 新しいヒトやモノ、情報に出会えて、役に立つ
- 柔軟性や可変性のある空間で使いやすい

過ごしやすさ

- 誰でも簡単に様々な活動を行うことができる
- 誰もが（一人でも）居心地が良く過ごすことができる
- 天候によらず、使うことができる
- 心地よい穏やかな光景を見ることができる
- 歩いたり会話する機会が増え、健康に暮らせる

安心感

- 社会的なつながりを得られる
- 徒歩や車両で安全に移動できる
- 防犯性の高い環境で安全に使える
- 緊急時に安全に逃げ込める

福山らしさ

- 福山の歴史や文化を感じられる
- 福山の気候や風土との調和を感じられる
- 駅周辺や周辺地域の様々な魅力を感じられる
- 訪れる人々が愛着を感じられる
- まちの多様性やにぎわいのエネルギーを感じられる

1. これまでの検討状況について

●課題解決の方向性と今後の検討項目

①歩行者と車両が安全で快適に移動できる環境整備

- ・歩行者と車両の動線検討
- ・福山市営駅南口駐車場と福山市駅地下送迎場の接続

②多様な人々と活動を受け入れる居心地の良い空間の創出

- ・居心地の良い空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）
- ・駅舎からの視界の広がり向上（同上）

③福山ならではの特徴や魅力を生かした空間の形成

- ・福山ならではの地域資源を生かした空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）
- ・福山城の遺構を生かした空間の検討（同上）

④技術の進化や交通需要の変化、多様な利活用を見据えた可変性の確保

- ・各交通施設の施設数や配置場所（転回場・走行ルート・交通規制など）
- ・公共交通の運用方法の検討

⑤多様な主体が活用しやすい広場の運営

- ・多様な使い方ができる空間づくり（使用方法の検討）
- ・駅周辺のエリア価値が高まる運営の仕組みづくり（運営方法の検討）
- ・柔軟な管理方法の検討

⑥多様な情報が集積し、情報の発信や交換ができる環境整備

- ・官民連携による情報発信の仕組みの検討
（情報の内容・発信方法・発信場所など）

1. これまでの検討状況について

●東西に分散配置する案（C案）を基本にしつつ、全面広場化する案（D案）の実現可能性を検討

各機能の配置計画

<これまで検討してきた空間配置の評価>

- ・ バース数は現状と同程度で作成
 - ・ 各車両の動線は実際の軌跡と同程度で作成
 - ・ 地下駐車場と地下送迎場の接続等を想定して作成
- 主な交通空間
 まとまった広場空間
- 歩行者動線
 車両動線

	現状	A:北側に集約	B:東西のいずれかに集約	C:東西に分散配置（素案）	D:全面広場化
計画の考え方					
東西方向の回遊性	× 交通島や車両動線、駅前大通りにより、歩行者は迂回をしたり、地下への昇り降りが必要となる。	△	× 路線バスのレイアウトを変更したとしても、バスが広場内で転回することによって交通島ができ、現状の歩行者動線とほぼ変わらない	○ バスが駅前広場外で転回することや駅前大通りを縮小することにより、交差点がコンパクトになり、歩行者が地上を渡れるようになる。向こう側のまちのにぎわいを感じやすくなることで回遊の動機も促される。	◎ 全面広場化により東西の分断が完全に解消される。
広場の規模	× 交通結節機能を集約しているため、まとまった広場空間が少ない。	△	同左	○ 交通結節機能を確保しながら、広場空間を最も大きく確保できる。周辺街区と接する広場空間の範囲が広くなり、周辺街区との連携強化も見込める。	◎ 広場空間を最も大きく確保できる。
実現性	—	○	同左	○	△ 駅前広場外へのバスターミナルの配置が必要となる。駅周辺の開発動向によるため、実現性が不透明

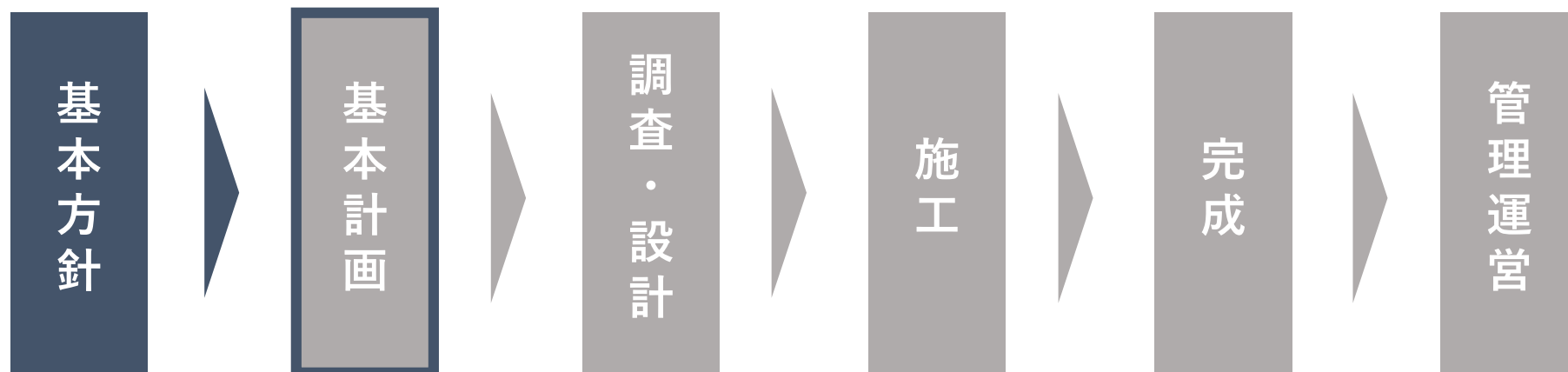
1. これまでの検討状況について

2. 検討の進め方について

3. 基本計画の内容について

2. 検討の進め方について

●事業の段階について



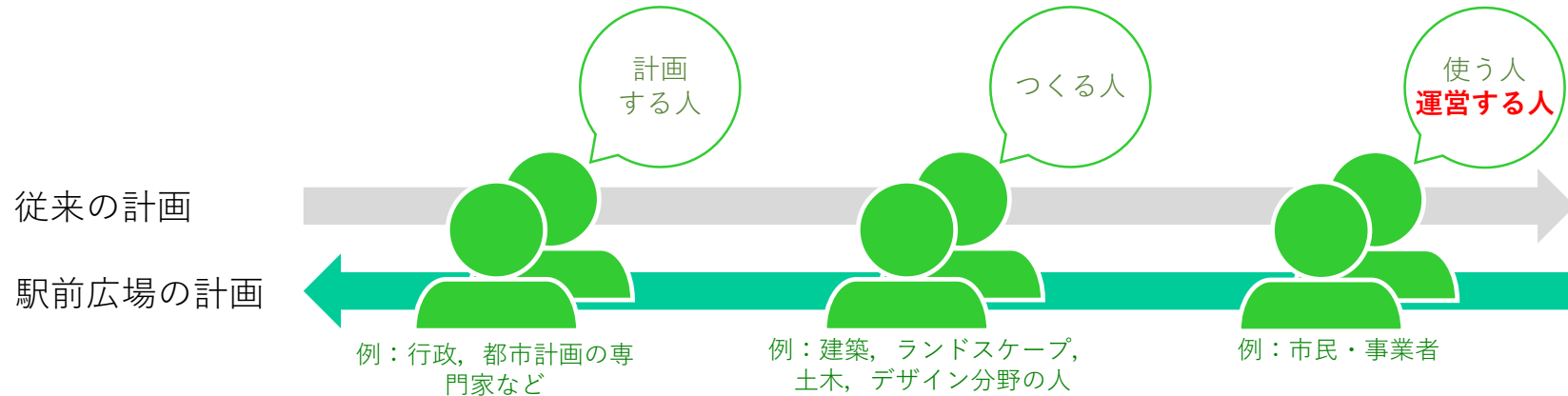
年度	内容
2023年度（令和5年度）	基本計画（素案）を作成
2024年度（令和6年度）	基本計画の策定
2025年度（令和7年度）以降	調査，設計，施工

※目標年次は計画内容によって変わるため、現時点では未定

2. 検討の進め方について

●計画のプロセス

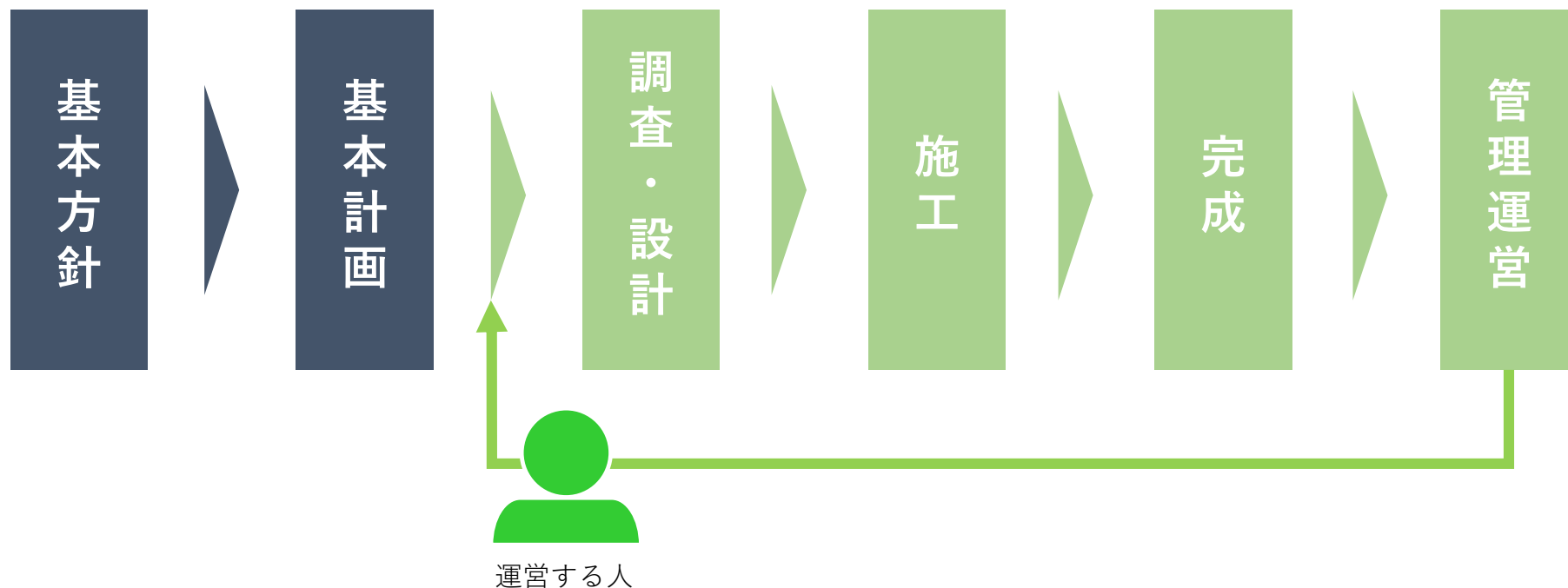
従来のまちづくりは、「計画する→つくる→使う」というプロセスで行われています。駅前広場に必要とされる機能のあり方を検討していくためには、**駅前広場の利用者が駅前広場でどのような活動をしたと考えているのかを把握し、多様な関係者と連携しながら、計画を検討していくプロセスが大切になります。**



広場を運営する人の考えを踏まえて、広場をつくる（設計する）ためには、設計段階の前に運営する人(運営事業者)を決める必要があります。

2. 検討の進め方について

●運営する人とともに設計する



広場を運営する人とともに駅前広場の設計（必要な施設と配置，空間デザインなど）を行うことを前提にしつつ，基本計画の検討を進めます。

1. これまでの検討状況について

2. 検討の進め方について

3. 基本計画の内容について

3. 基本計画の内容について

●基本計画に定める4つの計画

①歩行者と車両が安全で快適に移動できる環境整備

- ・歩行者と車両の動線検討
- ・福山市営駅南口駐車場と福山市駅地下送迎場の接続

②多様な人々と活動を受け入れる居心地の良い空間の創出

- ・居心地の良い空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）
- ・駅舎からの視界の広がり向上（同上）

③福山ならではの特色や魅力を生かした空間の形成

- ・福山ならではの地域資源を生かした空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）
- ・福山城の遺構を生かした空間の検討（同上）

④技術の進化や交通需要の変化、多様な利活用を見据えた可変性の確保

- ・各交通施設の施設数や配置場所（転回場・走行ルート・交通規制など）
- ・公共交通の運用方法の検討

⑤多様な主体が活用しやすい広場の運営

- ・多様な使い方ができる空間づくり（使用方法の検討）
- ・駅周辺のエリア価値が高まる運営の仕組みづくり（運営方法の検討）
- ・柔軟な管理方法の検討

⑥多様な情報が集積し、情報の発信や交換ができる環境整備

- ・官民連携による情報発信の仕組みの検討（情報の内容・発信方法・発信場所など）

基本計画に定める内容

施設計画

動線計画

景観計画

運営計画

3. 基本計画の内容について

●施設計画

●福山市営駅南口駐車場と福山市駅地下送迎場の接続

- ・地下接続通路のルート

●居心地の良い空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）

- ・利用者の活動（過年度のアンケート調査結果）などから、必要と考えられる修景・休憩施設などを例示
- ・施設の選択・配置・設計については、運営事業者とともに検討

●福山ならではの地域資源を生かした空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）

- ・ばらなど福山ならではの地域資源を生かした空間づくりの方向性を整理
- ・施設の選択・配置・設計については、運営事業者とともに検討

●福山城の遺構を生かした空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）

- ・遺構を生かした空間づくりの方向性を整理
- ・施設の選択・配置・設計については、運営事業者とともに検討

●各交通施設の施設数や配置場所（転回場・走行ルート・交通規制など）

- ・全面広場化（D案）の実現可能性の検討内容
- ・交通施設の施設数・配置場所

●公共交通の運用方法の検討

- ・ショットガン方式などの公共交通の運用方法

●官民連携による情報発信の仕組みの検討（情報の内容・発信方法・発信場所など）

- ・乗場や目的地への行き方が分かりやすい案内表示については、運営事業者や交通事業者とともに検討

3. 基本計画の内容について

● 動線計画

● 歩行者と車両の動線検討

- ・ 駅前広場やその周辺における歩行者と車両（自転車を含む）の動線

本日，意見交換

● 福山市営駅南口駐車場と福山市駅地下送迎場の接続

- ・ 地下構造物内における歩行者と車両の動線

● 各交通施設の施設数や配置場所（転回場・走行ルート・交通規制など）

- ・ 公共交通の走行ルート
- ・ 車両動線の変更に伴う，交通規制の変更点

3. 基本計画の内容について

●景観計画

●居心地の良い空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）

- ・ 空間デザインについては、運営事業者とともに検討

●駅舎からの視界の広がりへの向上（必要な施設と配置・空間デザイン）

- ・ 駅舎からの視界の広がり向上させる施設の配置・空間デザインについては、運営事業者とともに検討

●福山ならではの地域資源を生かした空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）

- ・ 空間デザインについては、運営事業者とともに検討

●福山城の遺構を生かした空間の検討（必要な施設と配置・空間デザイン）

- ・ 遺構を生かした空間づくりの方向性を整理
- ・ 空間デザインについては、運営事業者とともに検討

本日、意見交換

※イラストの作成

- ・ イメージを共有するため、協議会などの意見を踏まえて、整備計画のイラストを作成予定



(参考) 福山駅前広場の各機能の配置計画案(素案)のイラスト

3. 基本計画の内容について

●運営計画

●多様な使い方ができる空間づくり（使用方法の検討）

- ・ 利用者の活動（過年度のアンケート調査結果）や実証実験の結果などから、想定される使い方を例示
- ・ 具体については、運営事業者とともに検討

●駅周辺のエリア価値が高まる運営の仕組みづくり（運営方法の検討）

- ・ 広場の運営に関する方向性を整理
- ・ 具体については、運営事業者とともに検討

本日、意見交換

●柔軟な管理方法の検討

- ・ 管理の方向性を整理

●官民連携による情報発信の仕組みの検討（情報の内容・発信方法・発信場所など）

- ・ 具体については、運営事業者とともに検討